

令和8年度

あおもり県民カレッジ認定講座



社会教育実践力向上

研修講座

ネットワーク形成

課題解決

資質向上

地域課題の把握

生涯学習・社会教育関係職員の資質向上とネットワーク形成を目的とした研修です。業務に必要な基礎・実務知識に加え、地域課題の把握から解決につながる実践的なスキルを習得できます。

対象

市町村教育委員会の生涯学習・社会教育担当職員および公民館職員等 ※指定管理者も含まれます

日程

2026年4月～2027年2月

※詳しくは裏面をご覧ください

定員

30名程度

※講義のみ、アーカイブで後日視聴も可能です。



お申し込み方法

右記二次元バーコードを読み込み、必要事項をご入力の上お申込みください。

電子メールでのお申込みの方は、氏名・所属・職名・連絡先電話番号・受講方法を記載のうえ以下のアドレスへ送信してください。

E-SHAKYO@pref.aomori.lg.jp

お申込み締切/各講座実施日の1週間前まで



主催/青森県総合社会教育センター

社会教育の基本理念を学ぶ

社会教育と生涯学習の目的や意義を基礎から学べる講座です。地域で学びの場が求められる背景や社会教育の重要性を、分かりやすく解説します。新任職員の方や、基礎から学び直したい方におすすめの内容です。また、4月・2月両方の受講がおすすめです。

4/28 [火] 10:00-15:00 第2教材開発室

講義・演習 社会教育のきほんのき

東京都大田区・北区教育委員会で11年間、社会教育指導員として区民大学や日本語教育などに従事。2020年より弘前大学教育学部准教授。青森県・弘前市の社会教育委員等を務め、地域の社会教育推進に尽力。

弘前大学 教育学部
准教授 越村 康英 氏



2/19 [金] 10:00-15:00 第2教材開発室

講義・演習 社会教育がつなぐ地域づくり

東京都大田区・北区教育委員会で11年間、社会教育指導員として区民大学や日本語教育などに従事。2020年より弘前大学教育学部准教授。青森県・弘前市の社会教育委員等を務め、地域の社会教育推進に尽力。

弘前大学 教育学部
准教授 越村 康英 氏



社会教育の多様なニーズへ対応する

多様化する社会教育のニーズに対応するための専門的な知識と視点を学ぶ講座です。地域や現場で求められる課題解決力を養い、実践に役立つ具体的な手法を分かりやすく解説します。実務力を高めたい方や、社会教育の発展に貢献したい方におすすめです。

6/5 [金] 10:00-15:00 第10研修室

講義・演習 効果的なチラシ作成のポイント

Webサイトや紙媒体の企画・制作から活用提案、運用支援まで一貫して手がける。クリエイター向けセミナーや経営者向け講演も実施。「伝えるチカラで地域と人をつなぐ」をモットーに、効果的なPR手法を追求している。

ディーシーティーデザイン
代表 蝦名 晶子 氏



6/26 [金] 10:00-15:00 第2教材開発室

講義・演習 ゆるやかなつながりからはじめる地域づくりの実践

2007年に一関市へUターンし、いちのせき市民活動センター長として市民活動・コミュニティ支援に従事。行政と住民の協働による地域づくりを推進。震災後は復興センター設立など住民主体の復興支援に取り組む。

いちのせき市民活動センター
センター長 小野寺 浩樹 氏



7/17 [金] 10:00-15:00 第2教材開発室

講義・演習 次代の地域を担う若者の育成

東京大学大学院教育学研究科教授などを歴任し、2023年より大正大学地域創生学部教授。中央教育審議会委員等を務め、社会教育・生涯学習・まちづくりを専門とし、自治体との共同研究や地域創生に取り組む。

大正大学 地域創生学部 教授
東京大学 名誉教授 牧野 篤 氏



11/4 [水] 10:00-15:00 第10研修室

講義・演習 生成AI活用アイデアと社会教育での実践方法

Web企画・制作・コンサルに従事しつつ、障がい者や教育現場でのICT活用を研究。研修講師やアークセシビリティコンサルも担い、スマホ講習や指導者育成に注力。活動はモバイルプロジェクト・アワード2014社会貢献賞を受賞。

エイチピースタイルング
代表 高森 三樹 氏



11/12 [水] 10:00-15:00 第2教材開発室

講義・演習 共に学び支えあう社会教育の実践

2008年より桐蔭横浜大学助教、文教大学講師を経て2016年より同大学准教授。文部科学省調査官や青少年教育振興機構副センター長等を歴任。社会教育学・青少年教育を専門とし、著書に『社会教育の学習論』など。

文教大学 人間科学部
教授 青山 鉄兵 氏



12/3 [水] 10:00-15:00 第2教材開発室

講義・演習 防災の基本理念と地域の役割

1994年より男女共同参画活動を開始。震災後は防災とジェンダーの視点で人材育成や避難所運営支援を展開し、延べ3.5万人以上に実施。「誰一人取り残さない地域づくり」に貢献し、ジャパンSDGsアワード特別賞を受賞。

一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと
代表理事 小山内世喜子 氏

